

東京大学大学院総合文化研究科 特任研究員（特定有期雇用教職員）公募要項

1.	職名及び人数	特任研究員 1名
2.	契約期間	2026年4月1日以降できるだけ早く～2027年3月31日
3.	更新の有無	更新する場合があり得る。更新する場合は、1年ごとに行う。 更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。 ただし、更新回数は3回、在職できる期間は2030年3月31日を限度とする。
4.	試用期間	採用された日から14日間
5.	就業場所	大学院総合文化研究科（東京都目黒区駒場4-6-1 生産技術研究所T棟） 変更の範囲：原則同一部局内
6.	所属	大学院総合文化研究科附属先進科学研究所 ※業務の都合により変更することがある。
7.	業務内容	1) クライオ環境下でのイオントラップに関する実験研究やイオントラップのための超伝導マイクロ波回路の研究開発 2) JST ASPIRE「異種チップ集積による量子古典インタフェースの国際共同研究」における研究項目「量子プロセッサの構成要素の研究」に従事、国際頭脳循環のための、ハノーバー大学との国際共同研究 変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある。
8.	就業時間	専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
9.	休日	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
10.	休暇	年次有給休暇、特別休暇 等
11.	賃金等	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額40万円～50万円程度（資格、能力、経験等に応じて決定する）、通勤手当（支給要件を満たした場合に支給、原則55,000円／月まで）
12.	加入保険	法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入
13.	応募資格	以下の1)か2)か3)に当てはまる方 1) 量子技術に関する実験研究で博士号を取得したか、採用日までに取得見込みの方。 2) 他の実験研究で博士号を取得、もしくは採用日までに取得見込みであり、電子ビーム描画装置などを利用した微細加工の経験を持つ方、 3) 超伝導に関する研究で博士号を取得、もしくは採用日までに取得見込みである方。
14.	提出書類	1) 東京大学統一履歴書（様式については以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html ※記入要領については上記URLによらずに以下を参照ください。 https://www.c.u-tokyo.ac.jp/faculty/soumu/jinji/download-jinji/rireki_20220823.pdf 2) 業績リスト 3) 推薦書1通
15.	提出方法	上記書類の電子ファイルを以下のフォームによりアップロードすること。 https://forms.gle/ZddtgW3Bm7rsznzr7 ※応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。
16.	応募締切	2025年10月31日（金）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施。

17.	問い合わせ先	〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 大学院総合文化研究科先進科学研究機構 担当：野口篤史 TEL:03-5452-6118 e-mail:u-atsushi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
18.	募集者名称	国立大学法人東京大学
19.	受動喫煙防止措置の状況	原則敷地内禁煙（屋外に指定喫煙場所あり）
20.	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。 ・「東京大学男女共同参画加速のための宣言（2009.3.3）」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎します。 ・産前・産後休暇、育児休業又は介護休業を取得した場合の契約期間の取扱い：産前・産後休暇及び育児休業による中断期間分を雇用延長がある（プロジェクトの状況等による。詳細は応相談） ・採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。